

保育所実習 I (2024 年度入学生)

授業科目	保育所実習 I (2024 年度入学生)				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	篠木 賢一、池田 佐輪子、笠 修彰										
授業概要	講義・演習などの科目で修得した知識や技術を総合的に活用しながら、子どもの発達理解や保育の方法、保育者としての役割の理解など、保育士としての基礎となる総合的な実践力を養うことを本実習の目的とする。また、保育所の役割の概要や子どもの生活、保護者との関わりなどについて、見学・観察、部分参加実習を通して体験的に理解することを目的とする。なお、実習園では実務家による指導を受ける。										
授業形態	観察・参加実習 (10 日間)			授業方法	保育所での実習						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を行う保育所の役割や機能について説明できる。 2. 実習を行う保育所の 1 日の流れを理解し、主体的に保育に参加できる。 3. 乳幼児とのかかわりを通して、子どもの発達について説明できる。 4. 保育課程・指導計画の意義について説明できる。 5. 実習を通して保育技術を習得し、実践につなげることができる。 6. 子どもの最善の利益を具体化するための取り組みについて説明できる。 7. 実習を通して自己の課題を明確にできる。 <p>達成すべき行動目標が実施できるよう努める。</p>										
理想的レベル	標準的なレベルに加え、貴重な現場体験を活かし、子ども観・保育観を深め、かつ実習園から保育士としての資質を認められる評価を得られる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)			備考							
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	50%			実習日誌や各種提出物							
その他	50%			実習施設からの評価表等							
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31604J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	
1 日を振り返り、実習日誌に記述する。										1	
授業計画											
第 1 回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所での事前オリエンテーション 2. 保育所での実習 <ol style="list-style-type: none"> A) 保育所の 1 日の生活の流れを理解する B) 子どもの様子を観察する 										

	<p>C) 保育士と子どもの関わりの観察</p> <p>D) 保育課程、指導計画の意味を理解する</p> <p>E) 保育の一部に参加し、保育士の役割を知る</p> <p>F) 子どもの人権、健康管理、衛生・安全管理の理解</p> <p>3. 実習のまとめ、反省、次回の課題設定</p>
テキスト	内閣府・文部科学省・厚生労働省, 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』, チャイルド本社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし
課題に対するフィードバックの方法	実習日誌や実習施設からの評価表を用いて、実習事後面談を行います。
学生へのメッセージ・コメント	<p>「保育実習指導 1」を受講しており、実習要件を満たしている者</p> <p>主体的に実習にかかわる資料の収集を行うこと。</p>